

経営改善計画書(令和5年度～令和7年度)

団体名	公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター	様式2
現状と課題	会員の拡大と受注の拡大は、センター設立以来の重要課題であり、役職員及び会員が一体となって会員と就業機会の拡大に努めている。 しかしながら、高齢者数と会員数の比率を表す本センターの粗入会率(会員数／60歳以上の人口)は、令和5年度末で1.1%であり、全国平均の1.6%を下回っている。 少子高齢社会が進み労働力人口が減少する中、年金受給年齢の引き上げにより、65歳までの再雇用や定年延長又は定年制の廃止により、企業に残る高齢者が増加したため、会員の増が鈍化している。 今後、普及啓発活動を効果的に行い、会員の拡大と受注の拡大を図ることが最大の課題と考えている。	
経営方針 (令和7年度目標)	会員数:711人 契約高:3億760万円	

視点	7年度目標 (期間内の 最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント (経営改善効果)	市担当課コメント
			取組内容	目標値	取組状況	実績値		
経営改革 (財務面での長期見通し)	3076000の確保 円	5年度	普及啓発活動に積極的に取組み、会員及び就業機会の拡大に努めます。	会員数705人	目標を達成できた。	会員数734人	猛威を振っていた新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に「2類相当」から「5類感染症」になり、通常の社会活動が戻る中YouTubeを利用した動画を配信する等、シルバー事業の普及啓発活動を積極的に展開した結果、会員数及び受託事業の実績は、目標を達成することができた。 また、毎月第2、第4火曜日に開催している入会説明会に加え、説明用パワーポイントに説明音声を録音した電磁的記録を作成し、その記録を視聴した者は、入会説明会に出席したものとみなすこととする規程を整備し、いつでも入会手続きが行えるようにした。 シルバー派遣事業の実績は、令和4年度に「鳥取市南部支線バスの運行に関する人材派遣業務」が終了した影響が大きく、目標を達成することができなかった。 令和5年10月から施行された適格請求書等保存方式(インボイス制度)に対応するため、事務費率の見直しを行った。 令和6年11月から施行されるフリーランス新法に対応するため、会員との通信手段のデジタル化を推進して業務の効率と経費の削減を図ることとし、会員に令和6年1月からセンターの会員専用サイトへの登録をお願いした結果、同年3月末現在の登録者は、387人(登録率52.7%)に達した。	70歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務とされる高年齢者雇用安定法の改正が行われ、会員の確保が困難な状況に直面している中、YouTubeの活用、入会説明会の機会拡大に取り組み、会員の拡大に努めています。またインボイス制度、フリーランス新法といった新たな法律に対応するため、デジタル化を推進したり、自主財源の確保に努めたり、経営改善に取り組んでいます。
				契約高:受託事業250,200千円	目標を達成できた。	契約高:受託事業261,759千円		
				派遣事業 51,300千円	目標を達成できなかった。	派遣事業 43,426千円		
		6年度	普及啓発活動に積極的に取組み、会員及び就業機会の拡大に努めます。	会員数708人	目標を達成できた。	会員数737人	新しいポスターを制作して、公共施設等に掲示を依頼するなど、シルバー事業の普及啓発活動を積極的に展開した結果、会員数及び受託事業の実績は、目標を達成することができた。 また、令和5年度から、毎月第2、第4火曜日に開催している入会説明会に加え、説明用パワーポイントに説明音声を録音した電磁的記録を作成し、その記録を視聴した者は、いつでも入会手続きが行えるようにした結果、令和6年度は、62人が視聴して43人が入会し、69.4%と高い入会率となった。 (参考:入会説明会(24回) 参加者144人 入会者81人 入会率56.3%) 令和6年11月から施行されたフリーランス新法に対応するため、会員との通信手段のデジタル化を推進し、会員にセンターの会員専用サイトSmile to Smileへの登録をお願いした結果、令和6年度末現在の登録者は、549人(登録率74.5%)に達した。 令和8年10月から仕入税額控除の割合が50%に引き下げられ、令和11年10月から0%になるインボイス制度に備えるため、令和6年度からインボイス制度積立資産を創設し、積立を行うこととした。	70歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務とされる高年齢者雇用安定法の改正が行われ、会員の確保が一層難しい状況にある中、入会説明会の機会拡大等に取り組む、会員の拡大に努めています。またフリーランス新法といった新たな法律に対応するため、デジタル化を推進したり、自主財源の確保に努めたり、経営改善に取り組んでいます。 特に、会員専用サイト「Smile to Smile」の登録率が74.5%に達しています。今後も、会員の利便性向上とセンター運営の効率化の両立に取り組んでいきたい。
				契約高:受託事業251,200千円	目標を達成できた。	契約高:受託事業271,384千円		
				派遣事業: 53,300千円	目標を達成でなかった。	契約高:派遣事業 44,041千円		
	7年度		普及啓発活動に積極的に取組み、会員及び就業機会の拡大に努めます。	会員数711人	目標を達成できた。	会員数716人	新しいポスターを制作して、公共施設等に掲示を依頼するなど、シルバー事業の普及啓発活動を積極的に展開した結果、会員数及び受託事業の実績は、目標を達成することができた。 また、令和5年度から、毎月第2、第4火曜日に開催している入会説明会に加え、説明用パワーポイントに説明音声を録音した電磁的記録を作成し、その記録を視聴した者は、いつでも入会手続きが行えるようにした結果、令和7年度は、53人が視聴して24人が入会し、45.3%の入会率となった。 (参考:定例入会説明会(24回) 参加者172人 入会者78人 入会率45.3%) 令和6年11月から施行されたフリーランス新法に対応するため、会員との通信手段のデジタル化を推進し、会員にセンターの会員専用サイトSmile to Smileへの登録をお願いした結果、令和7年度末現在の登録者は、554人(登録率77.4%)であった。 令和8年10月から仕入税額控除の割合が70%に、令和10年10月から50%に、令和12年10月から30%に引き下げられ、令和13年10月から0%になるインボイス制度に備えるため、令和7年度公益充実資金(インボイス制度事業)に1,700千円を積み立てた。	70歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務とされる高年齢者雇用安定法の改正が行われ、会員の確保が一層難しい状況にある中、新たなポスターの制作・掲示や入会説明会の機会拡大等に取り組む、会員数・受託事業とともに目標を達成しています。 会員専用サイト「Smile to Smile」の登録率は令和7年度末に77.4%に達しており、デジタル化による会員の利便性向上とセンター運営の効率化が着実に進んでいます。引き続き、未登録会員への働きかけを強化し、登録率のさらなる向上に取り組むとともに、将来を見据えた経営基盤の強化に努めていきたい。
				契約高:受託事業252,200千円	目標を達成できた。	契約高:受託事業277,371千円		
				派遣事業: 55,400千円	目標を達成でなかった。	契約高:派遣事業 47,454千円		

視点	7年度目標 (期間内の 最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント（経営改善効果）	市担当課コメント	
			取組内容	目標値	取組状況	実績値			
組織改革 （組織見直し、人材育成）	会員就業率 91.7%	5年度	公益社団法人としてシルバー事業の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会をはじめ専門部会及び各委員会等の活発な活動に努めます。		分野ごとの職務を遂行することができた。	理事会年7回・専門部会延べ21回・地域班連絡協議会年5回	各専門部会及び委員会とも事業計画どおり活動した。	理事会及び各専門部会の開催により、円滑に運営しています。また、講習会の開催により、高齢者が安全かつ適正に就業できるよう努めています。	
			技能系職種の後継者育成のための講習会を開催します。	講習会4回/年	技能系職種に従事する会員の育成に取り組んだ。	講習会7回/年	刈払機・チェーンソー取り扱い、剪定作業、襖・障子・網戸張替え作業の技能講習会を開催した。		
		6年度	公益社団法人としてシルバー事業の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会をはじめ専門部会及び各委員会等の活発な活動に努めます。		分野ごとの職務を遂行することができた。	理事会年8回・専門部会延べ20回・地域班連絡協議会年4回	各専門部会及び委員会とも事業計画どおり活動した。	理事会及び各専門部会の開催により、円滑に運営しています。また、講習会の開催により、高齢者が安全かつ適正に就業できるよう努めています。	
			技能系職種の後継者育成のための講習会を開催します。	講習会4回/年	技能系職種に従事する会員の育成に取り組んだ。	講習会7回/年	刈払機・チェーンソー取り扱い、剪定作業、家庭内清掃、襖・障子・網戸張替え作業の技能講習会を開催した。		
		7年度	公益社団法人としてシルバー事業の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会をはじめ専門部会及び各委員会等の活発な活動に努めます。			理事会年7回・専門部会延べ20回・地域班連絡協議会年5回	各専門部会及び委員会とも事業計画どおり活動した。	理事会及び各専門部会の開催により、円滑に運営しています。また、講習会の開催により、高齢者が安全かつ適正に就業できるよう努めています。	
			技能系職種の後継者育成のための講習会を開催します。	講習会4回/年		講習会7回/年	刈払機・チェーンソー取り扱い、剪定作業、家庭内清掃、襖・障子・網戸張替え作業の技能講習会を開催した。		
公益増進 （顧客サービスの向上、社会貢献）	受注件数5,555件	5年度	アンケートの実施などにより、顧客満足度を確認し、サービスの向上につながるよう取り組みを進めます。	アンケート:2回/年	目標を達成できた。		アンケート調査:2回/年	今後の事業運営に反映させていくこととする。	アンケート調査の実施により、サービス向上や契約増加に努めています。また、公共施設等の清掃活動や地域班単位の少人数でのボランティア作業により、地域貢献も行っています。本市域の人手不足は慢性化しつつあり、引き続き、派遣事業の利用件数を伸ばす取り組みを進めていただきたい。
			ボランティア等の社会参加活動を行い地域社会に貢献します。	ボランティア:2回/年	目標を達成できた。	合同ボランティア:1回 地域ボランティア:24回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度から中止していた「地域班合同ボランティア作業」を4年ぶりに実施するとともに、各地域班で実施するボランティアも24か所で実施し、地域社会に貢献することができた。		
			公益事業の利用者(件)数を伸ばす取り組みを進めます。	受託事業5,450件/派遣事業78件	派遣事業の目標は達成できたが、受託事業の目標は達成できなかった。	受託事業 5,257件 派遣事業 101件	あらゆる機会を利用し、高齢者の就業ニーズに対応した就業機会の確保に努めていくこととする。		
		6年度	アンケートの実施などにより、顧客満足度を確認し、サービスの向上につながるよう取り組みを進めます。	アンケート:2回/年	目標を達成できた。		アンケート調査:2回/年	今後の事業運営に反映させていくこととする。	アンケート調査を通じたサービス向上に加え、公共施設の清掃活動や地域班ごとの少人数でのボランティア活動などに地域への貢献に継続的に取り組んでいただきました。一方で、慢性的な人手不足は依然として続く中、受託事業・派遣事業ともに前年を下回る状況となっています。今後は利用件数の回復・拡大に向けて、引き続き創意工夫を凝らしながら、取り組みを進めていただきたい。
			ボランティア等の社会参加活動を行い地域社会に貢献します。	ボランティア:2回/年	目標を達成できた。	合同ボランティア:1回 地域ボランティア:27回	各地域班で実施するボランティアも27か所で実施し、地域社会に貢献することができた。		
			公益事業の利用者(件)数を伸ばす取り組みを進めます。	受託事業5,460件/派遣事業81件	派遣事業、受託事業ともに目標は達成できなかった。	受託事業 5,005件 派遣事業 77件	あらゆる機会をとらえて、高齢者の就業ニーズに対応した就業機会の確保に努めていくこととする。		
		7年度	アンケートの実施などにより、顧客満足度を確認し、サービスの向上につながるよう取り組みを進めます。	アンケート:2回/年	目標を達成できた。		アンケート調査:2回/年	今後の事業運営に反映させていくこととする。	アンケート調査を通じたサービス向上への取り組みに加え、合同ボランティアに加えて地域班ごとに24か所でボランティア活動を実施するなど、地域社会への貢献に継続的に取り組んでいただきました。一方で、慢性的な人手不足が続く中、受託事業・派遣事業ともに目標を下回る状況となっています。今後は利用件数の回復・拡大に向けて、引き続き創意工夫を凝らしながら、取り組みを進めていただきたい。
			ボランティア等の社会参加活動を行い地域社会に貢献します。	ボランティア:2回/年	目標を達成できた。	合同ボランティア:1回 地域ボランティア:24回	各地域班で実施するボランティアも24か所で実施し、地域社会に貢献することができた。		
			公益事業の利用者(件)数を伸ばす取り組みを進めます。	受託事業5,470件/派遣事業85件	派遣事業、受託事業ともに目標は達成できなかった。	受託事業 4,631件 派遣事業 78件	あらゆる機会をとらえて、高齢者の就業ニーズに対応した就業機会の確保に努めていくこととする。		